



# 放課後楽校 よしだ通信



放課後楽校inよしだ

事務局発行

令和5年9月12日

No.7



## 『2024 新札発行 誰が選ばれたの?』

**触**って分かる  
深凹版印刷  
インキを高く盛り上げる印刷技術。  
触るとざらざらしています。

**透**かして分かる  
高精細すき入れ  
(すかし)  
従来のすき入れのすかしに加え、背景に高精細なすき入れが入っています。

**傾**けて分かる  
3Dホログラム  
(世界初)  
画像が立体的に見えるように回転するほか、画像以外の図柄も見る角度によって変化します。

**道**具で分かる  
マイクロ文字  
顕微鏡などで見ると、コピー機では再現できないほど小さな文字が見えます。

特殊発光インキ  
紫外線をあてると、日本銀行紙幣の図章や額縁の一部が発光します。

2024年度  
上期  
発行開始予定

新しいお札の  
ここに注目!

日本銀行  
BANK OF JAPAN

スタッフの鈴木達朗さんが先日、日本銀行仙台支店で「新しいお札」の発行についてのお話しを聞く機会がありました。

そのお話しの内容をいち早く放課後楽校の皆様にお伝えしようと今回の読み聞かせを開催いたしました。

左の写真が新札発行を解説した貴重なポスター。また、そのお札の顔に選ばれた人物が3名、皆さんにぜひ知ってほしい方々なのです。『渋沢栄一』、『津田梅子』、『北里柴三郎』今回はこの3名のご紹介

最初は津田梅子さん  
1864 東京に生まれ  
1874 初の女子留学生  
1年10ヶ月の船旅で渡米  
当時7歳で10年間学ぶ  
17歳で帰国、日本語を  
忘れて再度学びなおす



「津田梅子さんについて」はスタッフの大河原みつ子さんがまとめた内容を分かりやすく解説してお話ししました。

24歳で再度渡米、生物学を学び優秀な論文を残す。帰国後35歳で津田塾大学の設立。



「新札について」はスタッフの鈴木達朗さんが用意した資料を用いて説明し質問も受け付けました。



渋沢栄一

1840 深谷市農家出身  
 1864 一橋慶喜に仕官  
 1867 パリ万博に随行  
       西洋見分1年半  
 1869 生涯500会社設立  
       「合本主義」の実践  
       小さな力を集結して  
       事業を起こし豊かに



北里柴三郎

1853 熊本生まれ  
 1886 ドイツに留学  
       結核菌のコッホに師事  
 1899 破傷風菌の培養  
       世界初で成功  
 1892 帰国、伝染病研究  
       所、北里研究所、慶  
       応大医学部等を創設



自由遊びの様子

